



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 美幌岬のキク科植物

02 脱プラスチック展示の挑戦

Vol.338

2025/09/01



城坂結実《霧中のウシノケグサ》

Photo 今月の1枚

6月にイネ科のウシノケグサを撮影しました。美幌岬での撮影は、気兼ねなく撮影できる、観光客の少ない霧の日が最適です。周囲を気にせず地べたに這いつくばって写真を撮っていたら、海外からの観光客に、「仕事？」「おもしろいねー」と声をかけられました。霧で姿を隠した屈斜路湖の代わりに、楽しんでいただけたようで何よりです。（城坂結実）



01 Green Column グリーンコラム

美幌峠の キク科植物

写真・文／城坂結実

今年の7月号(Vol. 336)に続き、
美幌峠の植物のお話です。

美幌峠に色とりどりの可憐な花が咲き乱れるのは6月から7月。9月に入ると、美幌峠は秋の気配に包まれ、なんとなく物寂しい風景になります。そんな中で目を引くのが、草丈が1mほどの黄色い花。2種類のキク科の植物、ハンゴンソウとトウゲブキが美幌峠の秋を知らせてくれます。

ハンゴンソウは本州の中部より北に分布し、北海道では平地でも見られる草花です。環境省が指定する特定外来生物のオオハンゴンソウと名前は似ていますが、ハンゴンソウはもともと北海道に分布する植物。漢字で反魂草とされるように、切れ込みのある葉が垂れ下がり、まるで死者の魂を手招きしているように見えることが、その名の由来とも言われます。

ここ美幌町でも、お盆の時期にハン

ゴンソウの花が咲きはじめます。森の中で、あっちでもこっちでもハンゴンソウに手招きされて、名前の由来を知っているだけに背筋が寒くなることもあります。

さて、もう一つのキク科植物はトウゲブキ(写真)。地面近くに広がる葉がフキのような形をしていることが名前の由来です。茎はすっと伸び、1mほどの高さで小さな^{ひまわり}向日葵のような花を咲かせます。私のカメラの腕前では、1mを超える大型の植物を写真に収めるのは至難の業。特に美幌峠のトウゲブキは、その葉が地面付近を覆う笹に隠れてしまうことが多く、花と葉がなかなか一枚の写真に収められないのです。

美幌峠のトウゲブキは、まだしばらく咲いていますので、みなさんもぜひ、写真撮影にチャレンジしてみてください。

脱プラスチック 展示の挑戦

写真・文／町田善康



2022（令和4）年、日本におけるプラスチック製品の年間生産量は910万tで、825万tが廃棄されました。このうち、大部分はリサイクルされていますが、9～18万tものプラスチックごみが自然環境中に出ていると言われています。そして世界全体で自然環境中に漏れ出すプラスチックごみの量は、年間3200万tとも言われ、そのうち200万t前後は、市街地から川を介して海に流出し、海洋ごみになっています。こうした状況の中、私は2019（平成31）年からプラスチックごみの問題に取り組んできました。

2024（令和6）年度に実施した特別展「カメラは見た！動物たちの素顔」では、脱プラスチックと廃棄物削減の取り組みを行いました。通常、博物館の展示では、グラフィックパネルやキャプションなどを作る際、硬質発泡

スチレンボードを使用します。しかし、今回行った特別展では、硬質発泡スチレンボードの使用を極力削減し、代わりに板段ボールや厚紙などのリサイクルできる素材を使用することで、プラスチックの使用量や展示後の廃棄物量を削減しました。その結果、今まではほぼ100%が廃棄物になっていた展示物のうち、約60%をリサイクルすることができました。さらに、他館で展示物を再利用することも行いました。

以上の取り組みについて、日本展示学会が発行する学術誌「展示学」69:6-10「博物館展示における脱プラスチックと廃棄物削減の取り組み」に寄稿し、脱プラスチックや廃棄物問題に関する博物館の取り組みの重要性も提言しました。

Exhibition 展示

特別展「蛍が舞う風景」

～10月26日(日)

ロビー展「フィルムで振り返る復刻上映」

～10月5日(日)

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

博物館でお宝をさがせ！

9/2(火)～9/30(火)

美幌博物館・参加費は観覧料に準ずる

申込み／申込み不要

美幌みどりの村ふれあいまつり 無料開館

9/14(日)

美幌博物館・無料

敬老の日 無料開館

9/15(月)

美幌博物館・無料

プチ工房「光の箱」

9/19(金)、20(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／鬼丸和幸(美幌博物館)

対象／どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。



送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

時の流れが年々早くなり、今年は気が付けば9月。来年3月下旬には特別展を担当しなければならないので、準備を始めたいところですが、何もできていません。過日、2月なのに準備が進んでいない夢を見て、汗びっしょりで飛び起きました。正夢にならないように…。(町田善康)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

